

個人戦では、前年度優勝者が順当に勝ち上がるものの、多くが連覇を逃がす結果となり、大会参加者の力が拮抗してきている様子がうかがえました。

閉会式では、子どもたちが笑顔でメダルを受け取る姿や、試合に負けて悔し涙を流す姿が見られ、大会に賭ける熱い思いを感じることができました。

毎年、参加者が増えてきており、すもう競技の関心が高まっています。来年度も子どもたちの熱戦が繰り広げられ、大会が盛り上がることを期待しています。優勝は次のとおりです。

優勝

【団体戦の部】

一の谷小学校

(田頭透馬、山下大祐、大杉航太、青木光希、佐藤太波)

【個人戦の部(男子)】

- 1年 坪内 英二(東秋留小)
- 2年 松井 来輝(多西小)
- 3年 諸橋 剛太(西秋留小)
- 4年 伊藤 康星(南秋留小)
- 5年 種藤 一帆(草花小)
- 6年 小野 亮太(西秋留小)
- 1・2年の部(女子) 横田 萌葉(草花小)
- 3・4年の部(女子) 上條 花音(東秋留小)
- 5・6年の部(女子) 高岸 恵(東秋留小)



力いっぱい戦い、お互いに称え合いました！

大自然を満喫！ 大島・子ども体験塾

8月10日(水)から14日(日)まで、あきる野市と羽村市の共同開催による「大島・子ども体験塾」を実施しました。

69人の小中学生(小5～中3)が参加し、東京都大島町で自然や歴史・文化に触れる様々な体験や、御神火太鼓を通じた大島の小学生との交流などを行いました。

子どもたちは、地域や年齢の異なる新しい仲間との出会いに、始めは戸惑っている様子でしたが、日の出浜でのシュノーケリング体験や、互いに声を掛け合いながら頑張った三原山登山などを通して、すっかり打ち解け、皆の表情は笑顔であふれていました。

ひとまわり大きく成長した子

日の出浜での
シュノーケリング体験！



新しい仲間とともに
たくさんの思い出ができました！

どもたちは、新たな友情とたくさんさんの思い出を胸に、元気一杯であきる野市へ帰って来ました。

夏だ！カルタだ！ おとなと子どもが真剣勝負！ あいさつ標語カルタ大会

第8回あいさつ標語カルタ大会を7月9日(土)に五日市ファインプラザで開催しました。この事業は、「おとなが手本のあきる野市」推進事業として、青少年委員・青少年健全育成地区委員会連絡会と教育委員会の共催により毎年実施しています。大会では一般市民から公募して作成した「あいさつ標語カルタ」を使います。参加者は4つの部門に分かれ、3人1組のチームで戦いました。参加者が過去最多となった今大会の優勝チームは次のとおりです。

優勝

【小学校1・2年の部】

参加31チーム

【小学校3・4年の部】

参加34チーム

【小学生5・6年の部】

参加48チーム

南シヤキシヤキレタス

(南秋留小)

【フリースタイルの部】

※大人のみ、又は子どもと混合

参加9チーム

のりっこさんちゃん(東秋留小)

真剣なまなざしで
カルタに向かっています！



参加者数は過去最多の366人。
会場は熱気と歓声に包まれました！

また、大会の運営にあたり、市内在住の中高生6人がボランティアスタッフとして協力してくれました。



大人も子どもも一緒に
楽しみながら対戦しました！